

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 31日

事業所名 ぽんぽこはうす

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	75%	25%	・利用者の特性や活動に応じて療育する部屋をわけている	・利用者人数が普段より多い日、職員の配置を多めにしている
	2	職員の配置数は適切である	75%	25%	・事前に各部屋、場所に配置職員を決めている	・利用者のその日の行動範囲によって、職員の配置人数が不適切な時は職員の配置を多めにしている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	75%	25%	・階段やトイレには手摺をつけている	・完全なバリアフリーまでとはいかないので、段差をなくしたり足元に物を置かないように配慮している
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	・ほぼ毎日業務前に皆でミーティングを行う	・前日の業務日誌を振り返り、情報を共有している
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	50%	50%	・学年末に保護者様にアンケート調査を依頼し参考にしている	・アンケートそのものを確認したことがないので、保護者様から直接連絡が来たり意向があった時は業務改善につなげている
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	25%	75%	・ホームページで公開している	・自己評価の結果を見直ししないので、確認したことがない
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	25%	75%	・他店舗スタッフの意見やホームページの評価を参考に改善に努めている	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	75%	25%	・各委員会を設置し内部研修、外部研修に参加している	・以前に比べ最近は少なくなってきたと思われる。研修の機会があれば参加します
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・保護者様とモニタリングを行い、保護者様のニーズに添った計画を立案している	・保護者様のニーズを事業所内部で共有している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	50%	50%	・チームで考え、本県にあったツールを使用している	・必要に応じて分析を行っているので、標準化されたツールを取り入れるようにする
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	・毎月会議を行い様々な案の中から、個別、集団に応じたプログラムを行っている	・利用者様が全員平等なプログラムを行えるよう改善に努めている
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・季節に合ったプログラムを考え取り入れている	・その時の子供の様子に合わせて、少し内容に強弱をつける
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	・日に応じて細かく設定している	・あくまでも行事予定に基づき療育支援に近づける
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・児童のコンディションに応じて個別、集団活動に切り替え、組み合わせている	・個別、集団活動を上手く組み合わせた計画書を作成する
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	・毎朝打ち合わせを行い、配置、役割分担を確認している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	75%	25%	・その日の出来事を、業務日誌に書き込み翌日に話し合い共有している(個別でリーダーに報告することもある)	・業務終了の時間がまちまちのため、なかなか皆で話し合いをすることが難しく、翌朝の話し合いが多い。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・毎日業務日誌を記録している	・業務日誌から当日の振り返りを翌日からの職務に繋げる
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・定期的にモニタリングを行い個別支援計画書の見直し、更新をしている	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	・複数組み合わせ合わせた支援を行っている		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	複数参画している	どういった内容について話し合ったのか、もっと共有出来たらよいと思う
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	情報共有を行っている	保護者様と共有出来ていない部分もある(学校欠席の連絡がないこともある)
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	75%	25%	最初に作成する面談表に記載されているので、連絡体制はとれている	保護者様を通して連絡を取る場合もある(主治医様との直接連絡が取れない)
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%	0%	情報共有を行っている	何か特例があった時のみに情報共有を行っている場合もある
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	75%	25%	対象児童の特性など情報提供している	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	75%	25%	定期的に研修の機会がある	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	25%	75%	おでかけの際、地域の子もたちと交流するようにしている	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	気付きや課題など、送迎時、連絡帳等、直接電話などで共有している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	25%	75%	ペアレントトレーニングはなかなか出来てないが、共有できる情報は保護者様と交換している	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時やモニタリング時に説明を行っている	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	相談はいつでも対応できる体制をとっている(送迎時、電話、モニタリング、連絡帳等)	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	対応専用の窓口を設け、管理者と共に協議し迅速に対応している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月保護者様宛に発信している	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	十分している	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	こども達にはPECSや絵カードを用いたり、保護者様には送迎時や連絡帳などで常に連絡を取っている	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	50%	50%	施設で児童が作成した作品などの販売会を行っている	コロナも落ち着いたので、地域交流に向けたイベントを考えている

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	対策委員会より発表がある。避難訓練を行った後各事業所集まり全体発表があり、見直しをする
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	定期的に避難訓練を行っている
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	対策委員会より定期的に発表があり、職員の研修も行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	契約時に保護者様に十分に説明し、やむを得ずの場合は組織的に決定している
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	保護者様の情報を基に指示書を共有し対応している
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ミーティングの機会等を活用して、話し合いの中で改善に努めている